

学校だより

プラタナス



令和3年10月22日(金)

市川市立市川小学校

No.20 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



普段の生活の中に、自然に本が溶け込む環境

前号で紹介した秋の読書週間は今日で終わりました。子供たちは、お気に入りの一冊に出会えたでしょうか？読書好きになるために、小学生の段階までが「ゴールデンタイム」とであると、某有名私立中高の国語教師は言います。

「幼少期から読み聞かせを続けてきたけど、少しも本に興味を示してくれない…」とか、「日ごろから本を読むように言い続けているのに、逆に本嫌いになっているように見える…」などという悩みを抱える保護者も少なくないかもしれません。

今回は、子供の読書習慣形成のヒントになりそうな文言をいくつか拾い集めてみました。

1 語彙を増やす 読書は子どもにたくさんのものを与えてくれます。読書をして語彙が増えれば、教科書の内容や先生の話をしっかり理解できるのですから、学力の向上にもつながります。また、読書によって増えた語彙は、感情コントロールという点でも力を発揮します。というのも、言葉によって自分の感情を相対化して見つめ直すことができるようになるからです。

2 乱読のすすめ たくさん読んだ中には、子どもがワンシーンだけ、1ページだけ好きになる本もあれば、1冊丸ごと気に入ってしまうような完成度が高い本もあるでしょう。一方で、全然子どもの気に入らない本があるのも当然のことです。つまらない本を知らないと、「この本はおもしろいんだな」ということがわかりません。子どもには膨大な時間がありますから、乱読することで感覚やものを見る目を養わせましょう。

3 興味の延長線上に 大人でも「この本を読みなさい！」と強引に押し付けられたら、内心では反発したり、億劫になったりするのではないのでしょうか。子どもならなおさらです。そこで、おすすめしたいのが「アラカルト本棚」です。“アラカルト”という呼び名どおりに、文化系・理系・雑誌・漫画・小説・絵本・世界地図などなんでも、あらゆるジャンルの「おすすめ本」を並べてしまうのです。



4 それは禁句 子どもを本嫌いにさせる親のNG行動&ワードは、主に3つあります。

- ①「本を読みなさい」…読書を強制する
- ②「もう絵本は卒業しようね」…読む本を大人が決める
- ③「どんなことが書いてあったの？」…完璧な理解を求める

5 親が読書を楽しむ姿を 子どもでも大人でも、本嫌いの人はいますが、その最大の原因は本の魅力をまだ知らない、いわゆる「本の読まず嫌い」なのだから。本の中には何でも入っているのに、その広い世界と自分の世界が結びついておらず、本はつまらないと思い込んでいるだけなのです。



<引用：StudyHacker こどもまなび☆ラボ>

表彰関係

【火災予防絵画展】

敢闘賞 4年 U. H
努力賞 3年 T. W

絵画展示

期間：11／1(月)～15(月)

場所：ニッケコルトンプラザセンターモール

【科学工夫作品展】

優良賞 3年 T. W 「おもしろ水ぞく館」
佳作 2年 T. E 「ミラーボックス」
佳作 2年 M. A 「わたしはピーマンが
きらいです
～ピーマンの苦さの研究～」



スイッチを入れると、
海の生き物たちが光り
ます。回路が複数設け
られています。

【京葉ガス絵画展】

わくわく賞 4年 E. Y 「海で泳ぐ魚たち」
佳作 3年 K. S 「花火をしたよ」
準佳作 3年 T. W 「おじいさんのミニトマト」
準佳作 5年 K. S 「咲いたひまわり」

おめでとうございます!



【市川市夏季ミニバスケットボール大会】

第3位 市川小MBC



11／13まで一年二組で教
育実習をしています。他の
学年学級も参観しますの
で、宜しくお願いします。



一般的に、十一月十五日に行われる七五三のお祝い。今後の健やかな成長を祈願に神社やお寺にお参りする習わしが古くからあります。昔は数え歳でお参りをしたようですが、現在は満年齢でお参りする人の方が多いようです。

そして、七五三と切っても切れないものが、子供への長寿祈願のために食べる千歳あめ。粘り強く、細長い形状が長寿を意味しているようです。また、袋に描かれた絵にも願いが込められています。「鶴は千年、亀は万年」と言うくらいです。すから長寿を意味し、松竹梅は健康を意味しています。こうした願いをすべて詰め込んだのが千歳あめなのです。

この千歳あめが発売されたのは、江戸時代の浅草寺であったとされています。元々は「千年」という名前で売られていたのが千歳あめと変わってからも習慣はずっと残ったようです。

さて、「七五三」と記載する苗字もあることをご存じでしょうか。「シメ」「ナゴミ」と読みます。神社にあるしめ縄は、「七五三縄」あるいは「注連縄」と表記します。これは、しめ縄が一定の間隔で紙垂(しで)をつけていたり、縄の形状が蕨を七本、五本、三本つけていたりしたことが由来のようです。

さて、晴れ着もかわいい七五三。寒さが厳しくなったり雪に見舞われたりする心配があるため、北海道や東北地方ではひと月くらい早く行うようです。地方によっては、十三歳を祝う行事もあるのだとか。いずれも天気が気になるところです。

七五三

